

青空会ニュース

〔第177号〕

2015年11月10日発行

発行担当：伊藤 武夫

中田 百穂

季節ごとにいろいろ花があり、撮影を楽しめますが、この季節の華はイルミネーション！各地でもう華やいていますが、皆様お奨めの場所は？やはり近くのよみうりランドですか

1. 第15回写真展

節目の15回写真展を予定しています。順番から多摩区民館ギャラリーですが、日々は抽選ですので未定です。尚一層充実し、記念ある写真展を目指して皆様のアイデア、企画等提案下さい。

11月の例会（17日）では、写真展の課題を決定しますので、御希望の課題がありましたら提示下さい。例会に出席できない場合、メール等で会長まで御連絡願います。

2. 10月の月例会から

10月20日（火）、多摩市民館第1会議室で、伊藤会長の司会のもと、会員16名が出席して開催され10月例会次第に基づき進行されました

(1) 議題

- ① 写真展終了について、青空会ニュース176号にも記載しましたが、来場者皆様の感想、意見など再度確認し、会員の意見交換が行われました。
- ② 写真展終了後の反省会の不足分 4,420円を青空会会計から充当することが了承されました。
- ③ 10月バスによる撮影会の出席者、時間割の確認等がありました。
- ④ ボランティアの写真掲示の際の交通機関について、会員が提供している迎車の対応、バスによる往復、タクシー利用等議論が交わされましたが、結論出ず、今季はあと1回なので従来通り行き、来季は別途決めることとなりました。
- ⑤ 撮影会時における事故の対応について保険適用はどうなっているかとの質問があり、現在調査中だとの回答がありました。（損保ジャパン日本興亜の代理店との打ち合わせ結果 レクリエーション保険 20名以上（氏名記入） 20人で1,400円
1人でも可の保険：国内旅行保険 1人 550円位 各々手続きに1～2週間）
（ ）内は例会以降時の事項です
- ⑥ 第15回写真展の課題、11月の例会で決めることが了承されました。
- ⑦ 毎月の撮影会の担当を順番制にしたらとの意見が出されました。結論は持ち越し
- ⑧ 来季のワンポイントレッスン 参考書を基にして互いに勉強していく案が提案されましたが結論は出ませんでした。

⑨ 会場予約

2015	11月度	11月17日（火）	麻生市民館第1会議室	13時15分開会
"	12月度	12月15日（火）	多摩市民館第1会議室	13時15分開会
2016	1月度	1月19日（火）	麻生市民館第1会議室	13時15分開会
"	2月度	2月16日（火）	多摩市民館第1会議室	13時15分開会

(2) 合評会

多摩動物園における撮影会での写真等を中心に批評、講評がありました。

3. 撮影会

(1) 10月の撮影会 参加者 10人

10月13日(火)多摩動物園における撮影会は好天に恵まれ、各人各様、動物の撮影楽しみました。今度はよこはま動物園ズーラシアはいかがですか。

(2) 11月の撮影会 参加者 会員 12人 外部の方 9人 計 21人

11月06日(金)マイクロバスによる日帰り撮影会

深秋信州における撮影会、汗ばむくらの天候のもと巣栗溪谷、上田城の紅葉、昼食に信州ソバ(無料きのこ汁付)、リンゴ刈と充実した1日でした。

(3) 12月の撮影会(案)

実施日 20015年12月10日(木)

参加希望の方はメールまたは電話にて中田まで御連絡下さい。

撮影場所 よみうりランド イルミネーション

集合時間 新百合ヶ丘駅 バス停4番乗り場 16時00分集合

16時05分発 よみうりランド行

費用 バス代(IC) 206円 入場料 1,000円(60歳以上600円)

備考 アルコール入りのキャラメル、ストロベリー、チョコレートの飲物あり
またザクロビールもあります。

4. ボランティア写真入れ替え 12月 8日(火)行います。

栗平駅北口 14時 車 2台の予定

5. お知らせ

柿生中央商店会のフォトコンテストで佐野会員が2年連続最優秀賞を授与されました。ちなみに190点の応募数から最優秀賞1点が選出されたもので、作品は写真展にも展示されました「誰もいない恋人坂」です。

5. その他(雑感)

バカチョンカメラ、放送禁止用語となっていますが、従来の意味は“ちょん”とは『半人前』や『取るに足らない人』の事を芝居の終わりに打つ拍子木の音になぞらえた言葉とされる。又「ちょん」の用例として明治時代の小説「西洋膝栗毛」から『ばかだの、ちょんだの』と言う記述を引用している。これが転じてAF機能を搭載したコンパクトカメラのCMとして用いられた。又英語のvacation cameraのローマ字読みと上記とのダブルミーニングとの説もある。(ウィキペディアより)

いずれにしても従来は某国民を侮辱する言葉ではなかったようです。心ない人がこじつけたことは悲しいことです。青空会会員はこの言葉を絶対に使わないように心掛けて下さい。